

### 文教厚生委員長報告(概要)

議案4件を原案可決、認定2件を認定

【認定第2号】令和4年度南島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【質疑】 疾病別費用額の中で、歯肉炎及び歯周疾患の割合が増えているが、その背景に何か理由はあるのか。

【答弁】 国民健康保険事業の中で歯周病予防健診をしており、その受診割合がとて低く、虫歯になつてから受診される方が多いと思われる。

【質疑】 国保の令和4年度末の財政調整基金残高が約9億円だが、感染症や伝染病が突発的に出た時に対応するために国保の被保険者数に対しては、本市の場合、基金はどのくらい必要か。

【質疑】 歯周病予防健診の受診率の低さから、対策の余地や費用額を下げる方策が、まだ残っているならば、今後の検討課題ではないか。

【答弁】 以前は診療報酬の保険者負担分の3か月分が妥当と言われており、15億円程度必要になるかと思われる。最近では、基金の状況が変わり、県が全体的な財政運営を担い、納付金で医療費を補うようになった。基金につきましても今後国保の

ていたため、市民の目に触れる機会が少なかったかもしれない。今年度は、自治会配布で周知をしており、いろいろな方法を考えながら行っていく。

【認定第3号】令和4年度南島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について



歯周病予防健診 受診券

【質疑】 疾病別費用額の上位5つの中で、唯一、骨折のみが外傷性であり、転んだり、ぶついたりしない限り起こらない疾患である。骨折に対して市として取り組みしていることがあるのか。

【答弁】 骨折につきましても、骨折予防事業や島原地域広域市町村圏組合の介護保険課で筋力アップ

税率が大きく上がらないように、基金を取り崩しながら統一保険料に近づけていければと思う。

トレーニングを実施しており、骨折しないように筋力アップを図っている。

【質疑】 折れにくくなる体をつくるということ、人に対するアプローチが多いと思うが、例えば、柔らかい床や滑りにくい床に変えるという事業はあるのか。

【答弁】 介護保険の事業において、住宅に転倒防止用の手すりや段差解消のための補助金がある。

【質疑】 自宅以外で高齢者が集まる施設や病院に対する補助はあるのか。

【答弁】 医療機関などに関する補助金は今のところない。



### その他の付託案件

【議案第30号】南島原市社会体育施設条例の一部を改正する条例について

【議案第31号】令和5年度南島原市一般会計補正予算(第4号)

【議案第32号】令和5年度南島原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

【議案第33号】令和5年度南島原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

### 農林水産・建設委員長報告(概要)

議案3件を原案可決、認定2件を認定

【議案第29号】南島原市手数料条例の一部を改正する条例について

【質疑】 現在、この条例に該当する施設は南島原市にないのか。

【答弁】 それを認定した分譲マンションはない。

【議案第31号】令和5年度南島原市一般会計補正予算(第4号)

【質疑】 堂崎港埋立の水資源調査とは、ボーリングなのか。

【答弁】 電気探査により、どのような地層があるのか調査をする業務である。

【質疑】 調査は、いつまで予定しているのか。また堂崎港は単独で水を確保する前提で、調査をするのか。

市全体を調査し、今の水源を利用すると思つていたが、堂崎港内の水資源調査で確保できれば、



堂崎港埋立地

【質疑】 堂崎港でどれくらいの水が確保できる調査なのか。

【答弁】 調査目標水量は、一日あたり1千tの調査をしたと考えている。現在、余剰水が600t合せて1,600tで、口之津、加津佐方面の水供給が不安定な状況のため、全体的な水量の見直しの調査をする。

【質疑】 調査するエリアは、堂崎埋立地内の調査なのか、他の地域で調査なのか。

【答弁】 予定では3か所程度の堂崎から布津にかけての土地の調査を考えている。

【質疑】 1千t程度の使用が見込まれ、水不足が生じることから、新しくボーリングを掘る調査を実施すること、ある程度調査をしたうえで実施すると思うが、新たにボーリングしたことにより、既存のボーリングの水量が減ったという事実もある。その点をどう考えているのか。

【答弁】 調査は今年度末まで、水源調査の目的は、堂崎港ができたことにより、全体の水が不足するため、ボーリングを利用する計画で考えている。

【質疑】 既存のボーリングを使用されている方々の水量が減った場合、補償問題になると思いますが、その辺も考えて、調査をするのか。

【答弁】 周りの個人のボーリングの影響調査も実施する。また、揚水試験もボーリングの時には必ず行い、近隣のボーリング

【質疑】 1千t程度の使用が見込まれ、水不足が生じることから、新しくボーリングを掘る調査を実施すること、ある程度調査をしたうえで実施すると思うが、新たにボーリングしたことにより、既存のボーリングの水量が減ったという事実もある。その点をどう考えているのか。

【答弁】 揚水試験実施により、ほかの水源にどのような影響があるのか調査し、今後の事業を進めていく。

【質疑】 堂崎港から余剰水を口之津、加津佐のほうにやるのに本管は、1km大体幾らかかるのか。また、本管をつなぐことにより、口之津、加津佐はダムから取水しなくてもいいのか。

【答弁】 配管は、1.5kmぐらいを想定し、約3億円の配管費用が必要。また、口之津、加津佐の水源は、ダムの取水700tのほかに、年間平均一日あたり300tほど河川からの取水が必要な計画である。

### その他の意見

ボーリングをする箇所です、水が枯渇するという話がある。ボーリング実施前に、調査を十分行い、ボーリングにより、水で困った場合は、補償することを市民へ説明する必要がある。また、予算が成立し、発注、入札後、住民から反対され、できない場合もあると思うので、その辺を十分考えてやっていただきたい。

【認定第5号】令和4年度南島原市下水道事業会計決算の認定について

【質疑】 料金体系が異なっているのか。また統一についての考えは。

【答弁】 料金体系は、下水道事業で、公共下水道事業・農業集落排水事業、一般会計で、コミュニティプラントとなっている。今後懸念事項となっていた料金統一を検討したい。

### その他の付託案件

【議案第34号】令和5年度南島原市下水道事業会計補正予算(第1号)

